
大学教育学会ニュースレター

No.88 2011. 9.20

大学教育学会 (*Liberal and General Education Society of Japan*)

事務局 : 桜美林大学淵野辺キャンパス内

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

TEL/ FAX : (042) 704-7014

郵便振替口座:00120-4-178891 大学教育学会

e-mail: ungakkai@gmail.com URL: <http://www.daigakuyoiku-gakkai.org/>

「大学教育学会 2011 年度課題研究集会」

統一テーマ「大学教育の原点—授業・学生・教養—」

2011 年度課題研究集会企画委員会委員長

青野 透(金沢大学)

東日本大震災で被災された学会員および大学関係者の皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、1日も早い復興をお祈り申し上げます。

この間、災害情報を 22 言語に翻訳してサイトから発信し続けた東京外大の院生たち、宮城県内では撤去などの作業を毎週土曜、教職員とともにやってきた山形大と東北芸工大の学生たちなど、「何かやりたい」という思いからそれぞれにできることをボランティアとして行う学生たちの姿が報道されてきました。

被災地から戻った学生たちは、被災者に寄り添った体験を語り始めています。「目の当たりにした悲惨な光景が忘れられない。今後も復興活動に取り組みたい」「大切な仲間ができた。これからも参加したい」「微力だが無力ではない自分を実感した」「人力での泥かき作業の困難さを痛感した。復旧には時間がかかる。それぞれの立場で長期的な支援を考え実行していくことが大切だ」

自然との向き合い方や社会の在り方について思考を深めた学生たちも多いはずです。自らの視点で震災を語り継ぐこととなります。学生の自主的な活動を支えた大学等に敬意を表し、同時に、この時を、全ての大学関係者が、こうした体験から学びつつある学生たちに何を教えるべきかという、まさに教育の原点について振り返る契機としたいと考えます。

おりしも、本年4月、学校教育法改正により義務付けられた項目による教育情報公表が始まりました。一般教育・専門教育の区分と一般教育内の科目区分が廃止された大学設置基準「大綱化」からちょうど20年。学士課程教育を自由に編成できるようになった各大学が、FD・SDの成果を含め、その教育内実を世に問うべき時代になったわけです。

一方、カリキュラムポリシー策定や厳格な成績評価の検討など、個々の対応策が、大きな問題の部分的な切り取りに終始する可能性も指摘されます。制度上の変更は本来、学生に対する教育の質的向上につながるべきものです。教育の中心は授業であり、大学教育の根幹は教養教育(それをどのように定義するにしろ)にあることは明らかです。震災の前には見えていなかった日本社会の危うさが、はっきりとしてきました。新しい時代の知恵を提供すべき大学は、今、大きな転換点にさしかかっています。教育内容が、学生たちにとってはもちろんのこと、社会にとって本当に意義あるものか、問われています。

1979年の「一般教育学会」発足以来、本学会は、継続的テーマとして特定の課題を設定し研究を行っています。今年度の課題研究集会では基調講演に引き続き、3つのシンポジウムを開催します。学校教育法が規定する「学術の中心として、広く知識を授けるとともに、深く専門の学芸を教授研究し、知的、道徳的及び応用的能力を展開させる」という大学の現在と未来を、授業・学生・教養をキーワードに描きだすことを試みます。

開催校山形大学を中心とした「地域ネットワークFD“樹氷”」の実績をもとに、北海道から関東まで多くの大学等が参加する「FDネットワーク“つばさ”」が展開されており、被災地からも多くの大学人が集うことになります。活発な討論により、さらなる教育改善を目指す明確な視座を提示することができれば幸いです。

大学教育学会 2011年度課題研究集会 実施要項

統一テーマ：「大学教育の原点—授業・学生・教養—」

主催：大学教育学会

共催：山形大学

期日：2011年11月26日(土)・27日(日)

会場：山形市中央公民館（山形県山形市七日町一丁目2番39号）

【スケジュール】

第1日：11月26日（土） 山形市中央公民館ホール（アズ七日町6階）

12:00 13:00 13:30 14:30 14:50 17:50 18:00 20:00

受付	開会 挨拶	基調講演	休憩	開催校企画 シンポジウム	移動	懇親会
----	----------	------	----	-----------------	----	-----

懇親会場：山形グランドホテル

第2日：11月27日（日） 山形市中央公民館ホール（アズ七日町6階）

9:00 9:30 12:00 13:00 15:30 16:00

受付	シンポジウムⅠ	昼食	シンポジウムⅡ	閉会 挨拶
----	---------	----	---------	----------

関連行事

11月26日(土)10:00～12:00 常任理事会（山形市中央公民館5階研修室）

12:00 受付開始（中央公民館6階ロビー）

13:00～13:30

総合司会：立松 潔（山形大学）

開会行事（中央公民館ホール）

開催大学挨拶 渡邊 洋一（山形大学）

学会会長挨拶 小笠原 正明（北海道大学・筑波大学）

13:30～14:30

【基調講演】「東日本大震災と大学」

講演講師 山形大学教授 山本 陽史

講演講師紹介 実行委員長 小田 隆治（山形大学）

14:30～14:50 休憩

14:50～17:50

【開催校企画シンポジウム】

テーマ：「学生主体型授業の可能性」

2011.3.11 東日本大震災は、そのカタストロフィ的な悲劇、と同時に、戦後から日本に溜まってきた歪を一举に噴出した感がある。たしかに、少子高齢化・人口減少・経済の停滞・政治の混迷・グローバリズム・高度情報化社会・エネルギー問題・地球環境問題などは大震災前から顕在化していたが、それらの問題群は我々の脳と口に留まり、生理にまで届いていなかったようである。巨大津波によって破壊された風景や、原発事故によって虚無化された光景が眼底に焼きつき、震撼とした。眼前には茫漠とした不安な未来が広がっている。

人類は、これまで絶望的とも言える苦難に幾度も遭遇してきたが、その都度、必死に生き、生命をつなぎ、文化を継承し、社会を発展させてきた。いま我々は不安を抱きつつも、先人がしたように、あがき、苦しみながら、つぎにつなげていく。人間は、いついかなる時も、より良い生と社会の発展を希求している。

大学は、18歳人口の半数以上が入学する時代となり、やがては市民の半数以上を大卒者が占めるようになる。大卒者は専門職業人として社会に貢献しつつも、同時に市民としての一般的な役割を担うことになる。職業人がその専門性において社会の部分性を担うとするならば、市民の重要性はその全体性にあるだろう。若者たちはどういふ社会を求め、それをどのように建設していくのか。主体的に自己・人間・社会・国家・自然・地球を問い、様々な人たちとコミュニケーションし、社会にコミットする自立した市民の育成が求められる。こうした市民の育成が大学教育、特に教養教育の現代的な意義である。市民の基盤となる主体性を育成するためには、大学の授業において様々な新しい試みがあってしかるべきであり、実際、全国の大学で多様な試みが行われている。我々はこうした目標に向かってチャレンジしている授業を学生主体型授業と呼んでいる。この時代にあって、学生主体型授業の可能性について考えてみようと思う。

シンポジスト：

橋本 勝（富山大学）「東日本大震災を学ぶ13の切り口」

杉原 真晃（山形大学）「学生主体型授業をもとにした教員主体型FDの構築」

阿部 和厚（北海道医療大学・北海道大学）「学生主体授業『メディカルカフェをつくる』」
コメンテーター：林 義樹（日本教育大学院大学）

司会者：青野 透（金沢大学）、小田 隆治（山形大学）

18:00～20:00 懇親会（山形グランドホテル）

第2日目———山形市中央公民館ホール（アズ七日町6階）

9:00 受付開始（中央公民館6階ロビー）

9:30～12:00

【シンポジウムⅠ】

テーマ：「実践的な教養教育を求めて」

課題研究の二年目として、本年8月に、学部長・共通教育実施組織代表者について全国調査を行った。このシンポジウムの前半では、両者の概略を紹介する。そして、これまでは、後半では、共通教育のデザインについて議論する。

全国調査の自由記述からうかがえることは、従来型の書物や学説に依存した古典的な教養教育が困難になってきており、教養教育への期待が多くの大学で、生活習慣の確立・人間形成・キャリア形成とオーバーラップしてきていることである。これは、アカデミックな教養教育の前提であった、学生の読書経験や自主性、課外活動が衰退し、知的な好奇心の喚起や社会人基礎力の育成、キャリア形成についても、大学の介入が必要なことを示している。そして、これらの要素は、教養／共通教育・専門教育として分離されるものではなく、学士課程教育全般の設計で意識される必要がある。そこで、今回のシンポジウムでは、体験型教養教育の事例として恵泉女学園大学における園芸教育、人間形成・キャリア形成を教育プログラムの中心にした事例として中村学園短期大学を取り上げたい。

企画者：山内 正平（千葉大学）・古畑 徹（金沢大学）・佐々木 一也（立教大学）・

小林 勝法（文教大学）・小山 悦司（倉敷芸術科学大学）・

中村 博幸（京都文教大学）・吉永 契一郎（東京農工大学）・

吉田 香奈（山口大学）・木本 尚美（県立広島大学）

司会者：吉永 契一郎（東京農工大学）・中村 博幸（京都文教大学）

シンポジスト：

吉田 香奈（山口大学）「共通教育実施組織代表者全国調査の概略」

木本 尚美（県立広島大学）「共通教育学部長全国調査の概略」

澤登 早苗（恵泉女学園大学）「教養教育としての生活園芸」

酒見 康廣（中村学園短期大学）「キャリア開発学科における就業力の教育と支援」

12:00～13:00 昼食休憩（昼食会場：山形グランドホテル又は山形市中央公民館）

事前にお申込みされたお弁当は、昼食会場で引換券によりお渡しします。

13:00～15:30

【シンポジウムⅡ】

テーマ：「学生支援で学生はどのように変容しうるのかーボランティア活動支援からー」

本課題研究の目的は、学生の多様化や大学教育改革の進展によって、その広さと深さを急速に増しつつある学生支援の現状と課題について理論的・実証的に分析と検討を行い、今後の展望を得ようとするものである。1年目である本シンポジウムにおいては、本課題研究の全体像と方法を提示するとともに、新たな学生支援像の実践例の報告から学生支援の領域と構造を探索していくこととしたい。

具体的には、学生のボランティア活動を支援していくことで、学生たちは何を学び、何を身につけてきているのか、学生の身近で支援活動を実践してこられた方々に、それぞれの現場での変容についてご報告いただき、それらに基づいて、現在多様な形で求められている学生支援がどのように展開しうるのか、特に学生の学びや学生自身の変容に焦点をあてて議論し、示唆を得たい。

シンポジウム前半「学生支援で学生はどのように変容しうるのか」

シンポジスト：

兵藤 智佳（早稲田大学平山郁夫ボランティアセンター）及び学生
交渉中（国立大学）及び学生

司会者：沖 清豪（早稲田大学）

シンポジウム後半「本課題研究の基本的な考え方と今後の進め方について」

司会者：川島 啓二（国立教育政策研究所）

15:30 ～16:00 閉会行事

学会会長挨拶 小笠原 正明（北海道大学・筑波大学）

次年度大会開催校・課題研究集会開催校紹介

閉会挨拶 2011年度課題研究集会実行委員長 小田 隆治（山形大学）

＜課題研究集会参加申込み要領＞

課題研究集会に参加される方は、以下の要領で1)参加申込みの上、2)参加費等の払込みを行ってください。なお、準備の都合上、事前手続きにご協力ください。事前手続きにより、参加費・懇親会費を割引させていただきます（学生会員以外）。

＜事前手続き＞ 10月24日(月)までにお申込みの上、参加費等の払込みを、11月4日(金)までにお願ひします（期日厳守）。

1) 参加申込み方法

次の①または②のいずれかの方法で参加申込みをお願いいたします。

① 【オンラインでのお申込み】9月21日（予定）より、本学会ウェブサイトの最新情報欄に「2011年度課題研究集会のご案内」が掲載される予定です。同記事より、「大学教育学会2011年度課題研究集会（山形大学）参加申込フォーム」へアクセスができます。同フォームの指示にしたがってお申込みください。

〔大学教育学会 URL〕 <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>

② 【FAXでのお申込み】同封の「参加申込書・要旨集申込書」に必要事項ご記入の上、実行委員会事務局（P.8参照）までお送りください。

※オンライン申込みの受付直後には「申込受付」メールを、申込み時に登録されたメールアドレス宛に送信します。FAXでお申込みの場合は、ご希望の連絡方法により「申込受付」をお知らせします。「申込受付」を受理されましたら、参加費等の払込みをお願いします。

2) 参加費等払込み方法

参加費等は、郵便振替による支払いをお願いします。振込手数料はご本人の負担となります。振替口座は以下のとおりです。参加者1名につき、払込票1枚でご入金ください。会員の方は、同封の「払込取扱票」をご利用いただくと便利です。なお、学会の年会費の郵便払込取扱票とは別になっていますので、ご注意ください。

課題研究集会 郵便振替口座
加入者名：大学教育学会 2011年度課題研究集会
【口座番号】02200-7-126064

なお、銀行など他の金融機関からお振込みになる場合は、下記内容をご指定ください。

金融機関名：ゆうちょ銀行 支店名（店番）：二二九（ニニキュウ）(229)

口座種別：当座、口座番号：0126064（※振込の際の口座番号桁数が異なります）

口座加入者名：大学教育学会 2011年度課題研究集会

締め切り後にご入金の場合、課題研究集会当日までに入金を確認できないことがありますので、ご入金時の郵便振替払込請求書兼受領証を必ずご持参ください。

領収書は、当日受付でお渡しします。

【参加費等】(事前払込期日は 11/4(金)です。)

申込み区分	会員・一般		学生 (特別割引)
	事前払込み	当日受付	
参加費 (要旨集含む)	4,500円	5,000円	1,000円
懇親会費	4,500円	5,000円	2,000円
『要旨集』のみ	1部 1,000円 (送料込み)		
弁当・お茶 (27日昼食)	1,000円		1,000円 (事前のみ)

- ・非会員の方も参加できます。オンライン申込みあるいは FAX でお申込み後、「申込受付」のご連絡時に参加費等をお知らせしますので、郵便局に備え付けの「払込取扱票」により、上記と同様の手続きをしてください。
 - ・学生や院生の方々が参加しやすいよう、参加費および懇親会費の特別割引をしています。会員の皆様におかれましては、非会員の学部学生や院生も含め、広く課題研究集会への参加を促していただきますようお願いいたします。また、これを機会に本学会加入呼びかけへのご協力もお願いいたします。
 - ・払込みされた参加費等は、理由を問わず返却いたしません。あらかじめご了承ください。
 - ・参加費等を払込みながらご欠席の場合は、後日、『要旨集』をお送りします。
- ※参加申込みとして登録された情報の内、事前に受付けされた方のお名前と所属機関名は、当日配付する『要旨集』の「参加者名簿」に記載させていただきます。
- ※本課題研究集会の開催にあたり、山形県の「平成 23 年度コンベンション開催緊急助成金」の交付を申請しており、後日、参加者名簿(お名前及び都道府県)を提出させていただきます。については、参加者名簿に記載されたくない場合は、実行委員会事務局に申し出てください。

3) 11月27日(日)の昼食

近隣に飲食店・コンビニ等もございますが、弁当をご希望の方は、参加費とともに弁当代 1,000円を払込んでご予約ください。弁当は、山形グランドホテル又は山形市中央公民館にて、当日「弁当予約券」と引き替えにお渡しします。

【会場へのアクセス】

会場へのアクセスは、山形市中央公民館ホームページにてご確認ください。

<http://www.city.yamagata-yamagata.lg.jp/shisetsu/shiminkatsudo/kominkan/762f9ChuoTop.html>



J R 山形駅から、徒歩約15分、タクシー約5分、本町方面行きバス約5分及び本町バス停から徒歩1分。

【宿泊について】

宿泊については、原則として紹介・斡旋は致しません。各自で御自由にお取りください。

【2011 年度課題研究集会 実行委員会 事務局】

「大学教育学会 2011 年度課題研究集会 実行委員会」事務局

山形大学 基盤教育院 杉原真晃研究室

〒990-8560 山形県山形市小白川町一丁目 4 番 12 号

TEL/FAX:023-628-4720

お問合せ用 E-Mail: k3cen@jm.kj.yamagata-u.ac.jp

＝事務局から＝

● 団体会員に「団体会員ページ」用ID、パスワードが発行されます【重要】

「団体会員ページ」を開設しました。ログインしていただくためのIDと初期パスワードは、ニュースレターに同封した書面「大学教育学会ウェブサイト団体会員ページについて（お知らせとお願い）」を必ずご確認ください。

● 会員登録内容更新のお願い【重要】

ニュースレター到着後から10月末日までウェブサイトにおいて、個人会員、団体会員ともに、会員登録内容定期更新期間を設けさせていただきます。会員種別に応じて「個人会員ページ」あるいは「団体会員ページ」にログインし、入力フォームに記載されている会員登録内容の確認、更新を10月末日までに行ってください。変更がない方も必ずご確認をお願いいたします。内容を変更した方は、「変更あり」のボタン、変更せず確認のみした方は「変更なし」のボタンをクリックしてください。必ずどちらかのボタンをクリックし、受付完了画面が出ることをご確認ください。あわせて、受付完了をお知らせするe-mailも届きます。万が一e-mailが届かない場合は、事務局にご連絡をお願いいたします。

2012年5月には、理事選挙が予定されております。被選挙人名簿の作成のためにも、皆様のご協力をお願い申し上げます。

インターネットをご利用にならない会員で登録内容に変更が生じた場合は、お手数ですが9月末日までに学会事務局まで電話、またはFAXにてご連絡をお願いいたします。学会事務局に担当者が在室しているのは、月曜・火曜・金曜の10時30分～18時30分です。（事務局 Tel/ Fax 042-704-7014）

※個人会員の皆様には、「個人会員ページ」にログインするためのIDおよびパスワードをお知らせする書面は同封していません。IDは、4ケタの会員番号になります（2ケタの会員番号の方は00、3ケタの方は0を頭に付けてください）。初期パスワードやご自身で変更されたパスワードがご不明の場合は事務局にお問い合わせください。

● 会費納入のお願い

今年度（2011年度）の会費が未納の会員および過年度の会費・会誌代が未納の会員は、10月31日（月）までにご入金ください（領収証につきましては、郵便払込票の受領証をもって替えさせていただきます。）。

なお、入金状況について不明な場合は、メールもしくはFAXにて4桁の会員番号を明記の上、お問い合わせください。追って、返答させていただきます。

年会費等郵便振替口座 00120-4-178891 「大学教育学会」

ご入金はなるべく郵便払込取扱票をご利用ください。やむを得ず、銀行からご入金を希望される場合は、お手数でもご入金前に必ず事務局までその旨ご連絡ください。

※課題研究集会当日（11月26日（土）・27日（日））は、会場に学会事務局の受付を設置し、未納分の会費納入、会誌バックナンバー・学会出版物の頒布等を行いますので、ご利用ください。

※「東日本大震災における被災者等に対する学会としての支援」の一環として、2011年度年会費の免除措置を継続しております。該当する会員で未だ申請されていない場合には事務局までお知らせください。

● 大学教育学会第34回(2012年度)大会について

2012年度第34回大会は、5月26日（土）～27日（日）、北海道大学高等教育推進機構にて開催予定です。

※例年と異なり、5月最終週の開催になります。開催日程にご注意ください。

● 2012年度課題研究集会について

2012年度課題研究集会は、島根大学にて開催予定です。

● 大学教育学会奨励賞 2011年度募集について

大学教育学会奨励賞は、大学教育研究の発展を期して設けられました。

受賞対象者は本学会会員です。2011年度の受賞対象は過去3年間の学会誌（第31巻第1号から第33巻第2号まで）に掲載された論文です。応募は自薦・他薦を問いません。

- ① 提出書類 <自薦>論文、応募者の略歴及び業績一覧、応募理由（研究の意義・成果など1,000字以内）／<他薦>論文、推薦理由（研究の意義・成果など1,000字以内）
- ② 募集締切 2011年12月20日（火）必着
- ③ 送付先 学会事務局

● 住所変更の届出についてのお願い

定期刊行物は、おもにヤマトメール便を利用しているため、転居にともなう転送はされず、数週間後、事務局へ返送されてまいります。事情をご考慮いただき、ご登録内容に変更が生じた場合は、会員情報の変更申請をウェブ上よりお願いいたします。



【学会事務局】

〒252-0206 神奈川県相模原市中央区淵野辺 4-16-1

桜美林大学淵野辺キャンパス 3階

Tel/ Fax 042-704-7014

E-mail : ungakkai@gmail.com

URL : <http://www.daigakukyoiku-gakkai.org/>